

## 2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 2月 17日

所属	会計ファイナンス 研究科	職名	教授	氏名	武見浩充
研究課題	1. 資本コスト推計 2. 企業統治と倫理				
研究キーワード	資本コスト / 企業統治	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>資本コスト推計は資本の効率的な利用に不可欠である。一方、実証分析の観点からも実務的にも統一された見解はなく、また経営倫理に関する先行研究は多いが課題も多くみられる。統合報告書に着目した事例研究では、無形の企業価値の把握が主眼であるが measurement の点では課題を残している。ただし、これらを一体化し、経営に反映するキーワードが ESG であることが明確となった。なお、SASB(Sustainable Accounting Standard Board)を見ても、E に関しても financially material か、否かにその開示基準に置いている段階にある。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>NA</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>NA</p> <p>【学会発表等】</p> <p>NA</p> <p>3. 主な経費</p> <p>PC 更新</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>NA</p>					

(本文は2ページ以内にまとめること)